

kikusui

TECHNICAL DATA

仕上りの種類	防水形合成樹脂エマルション系 複層仕上塗材(防水形複層塗材E)仕上り
製品名	キクスイ 弾性ロール ゆず肌状 (ローラー工法)

下塗材： エポキシ変性アクリル樹脂エマルション系下塗材
「キクスイ プライマー スーパーE」

上塗材： 水系弾性アクリル樹脂塗料
「ビュートップアクリル 弾性」

第3版 作成日： 2019年12月23日



菊水化学工業株式会社

公共建築改修工事施工仕様書

1. 仕上げの種類

防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(防水形複層塗材E)仕上げ

2. 製品名

キクスイ 弾性ロール(ゆず肌状仕上げ)

上塗材：水系弾性アクリル樹脂塗料「ビュートップアクリル 弾性」

3. 適用範囲

既存の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合及びコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合に適用し、その他の下地に適用する場合は特記による。

4. 材料

下塗材：	キクスイ プライマー スーパーE	NET	15kg/缶入
主 材：	キクスイ 弾性ロール	NET	20kg/缶入
上塗材：	ビュートップアクリル 弾性	NET	16kg/缶入

5. 下地

5.1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.3 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整に準ずる。

5.2 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整

既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に外壁用塗膜防水材塗りを行う場合の下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.4 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整に準ずる。

6. 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (h) (23°C 50%RH)	所要量 (kg/m ²)
下塗り ^{(注)1}	キクスイ プライマー スーパーE 主材: 15 kg 清水: 無希釈	エアレススプレー ウールローラー等	1	3 以上	0.1 以上
増塗り	キクスイ 弾性ロール 主材: 20 kg 清水: 0~0.6 L	はけ等	1	3 以上	0.9 以上
主材塗り	基層塗り キクスイ 弾性ロール 主材: 18 kg 清水: 0~0.6 L	多孔質ローラー	2	16 以上 工程内 3 以上	1.7 以上
	模様塗り キクスイ 弾性ロール 主材: 20 kg 清水: 0~0.6 L	多孔質ローラー	1	18 以上	0.9 以上
上塗り	ビュートップアクリル弾性 主材: 16 kg 清水: 0.8~1.6 L	エアレススプレー ウールローラー等	2	工程内 2 以上	0.25 以上

注1 押出成形セメント板下地の場合は、『キクスイ SP パワーシーラー』を使用する。

7. 工法

7.1 材料の練混ぜ

- (1) 下塗材は、希釈せずハンドミキサーで均一にする。
- (2) 主材は、定められた模様に対する所定の粘度に調整するよう、指定量の清水を加え、ハンドミキサーなどで均一にする。
- (3) 上塗材は、指定量の清水を加え、ハンドミキサーで均一に薄める。

7.2 下塗り

- (1) 下塗りは、だれ及び塗残しのないように均一に塗り付ける。

7.3 増塗り

- (1) 増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口部回り等にはけ又はローラーにより、端部に段

差のないように塗り付ける。

7.4 主材塗り

- (1) 基層塗りは、2回塗りとし、だれ、ピンホール、塗残しのないよう下地を覆うように均一に塗り付ける。
- (2) 模様塗りは、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、指定の施工条件により塗り付ける。

7.5 上塗り

- (1) 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に塗り付ける。

8. 材料の取り扱い

- (1) 施工者は、材料の受入れ検査を行う。
- (2) 材料の保管にあたっては、直射日光を避け低温時において凍結しないように注意する。
- (3) 材料は使用に先立ち、材料の分離などについて検査を行い、異常が認められた場合は使用してはならない。
- (4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS（安全データシート）を参照のこと。

9. 施工時の養生

- (1) 外装仕上げ面においては、塗り付け作業前に直射日光、風及び雨を防ぐためシート掛け養生を行う。特にパラペットと足場の間には雨が吹き込まないように覆いをかける。
- (2) 夏季に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するため、シート類、ポリエチレンフィルムなどで覆う。
- (3) 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう適切な養生を行う。

10. 施工時の気象条件

- (1) 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避ける。
- (2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれのある場合及び強風時は施工を避ける。

11. その他の注意事項

- (1) 一般事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建

築工事編)」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.1.3 施工一般及び4.6.2 仕上塗材仕上げに準ずる。

- (2) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないように注意する。
- (3) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがある。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスクングを行うこと。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

成分表

下塗材： キクスイ プライマー スーパーE

内容	重量 (%)
エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン	100.0
計	100

主材： キクスイ 弾性ロール

内容	重量 (%)
アクリルゴムエマルジョン	46.9
白色及び体質顔料	47.5
水	0.4
添加剤	5.2
計	100

上塗材： ビュートップアクリル弾性

内容	重量 (%)
アクリル樹脂エマルジョン	62.0
白色顔料	17.1
水	8.6
添加剤	12.3
着色顔料	適宜
計	100

性能試験成績書

仕上げの種類	防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (防水形複層塗材E)仕上げ		
製品名	キクスイ 弾性ロール		
供試材料	下塗材：キクスイ プライマー スーパーE 主 材：キクスイ 弾性ロール 上塗材：ビュートップアクリル 弾性		
試験方法	JIS A 6909-2014 防水形複層塗材Eに準拠		
試験項目	規定	結果	
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がない。		適合
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	ひび割れがない。		適合
付着強さ N/mm ²	標準状態	0.7 以上	0.7
	浸水後	0.5 以上	0.5
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。		適合
透水性 B法 ml	0.5 以下		0.2
耐衝撃性	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。		適合
耐候性 A法	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上とする。		適合
伸び	20℃時	伸び率 120%以上	548
	-10℃時	伸び率 20%以上	89
	浸水後	伸び率 100%以上	271
	加熱後	伸び率 100%以上	237
伸び時の劣化	剥離、反り及びねじれがなく、主材に破断及びひび割れがない。		適合
耐候性 B法 (耐候形 3種)	照射時間 600 時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級が 1 以下とする。		適合
—以下余白—			

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。